

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・客足が増えて活気が出つつある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・10月は商店街でいろいろなイベントがあり、来街者数が増えた。10月になって急速に涼しい日が多くなり、秋物の動きが活発になってきている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・冬物商戦がスタートしており、単価も上昇傾向がみられる。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月は衣替えということもあり、中旬以降に気温が低下したため売上は堅調に推移している。特にアウターが昨年に比べて良く、大きく売上額を伸ばした。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・気温が下がり始め、ようやくジャケットやコート等の衣料品に動きが見られ、売上も回復傾向である。ただこれは9月が残暑で悪すぎたためであり、良くなったとは言え、前年同期を若干下回る。
	変わらない	百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べ来客数及び売上高共に上回った。食品、ダイニング、宝飾品が好調に推移したが、紳士用品、婦人ブレタ、呉服が苦戦した。秋物衣料の動きは前月に引き続き鈍い。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月に入ってやっと秋物が動き出したが目標までは及ばず、依然として購買に勢いが無い。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・石油等の影響があり、商品の単価が徐々に上昇してきている。その影響で客の購入する商品の数量が抑えられている。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・相当数の商品が年末にかけて値上がりの方向に進んでいる。単価アップによる売り上げ数量の減少が懸念される。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・来客数が増えているにもかかわらず、単価が非常に下落しており、また商品販売数も非常に少なくなっている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・毎週土曜、日曜日にフェアを開催しているが、サービス入庫は好調に推移しているものの来場組数が大きく前年を下回る状況が続いている。そのため車両購入の情報が非常に少なく、成果につながらない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・「客はどこへ行ってしまった」という感じで10月は全くだめであった。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・宿泊客が最近あまり伸びない。宴会関係も3か月前と比べて客の動きが悪い。景気はあまり良くなっていない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・良くも悪くもないが、客の財布のひもが固い。
		設計事務所（職員）	それ以外	・公共事業の縮減が大きく、これに依存している地方では元気がない。地方の中心地区の人通りは少なくなっており、特に個人商店や飲食業の売り上げは大きく減少している。建設業従事者の賃金減少や企業規模の縮小が目立つ。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・郊外の大店の淘汰も始まった。新たな家電量販店の進出は続くが、昭和50年代に進出して老朽化した大店の閉店が顕著になってきた。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・通年だと10月の半ばぐらいから秋植えの苗やガーデニング用品が動き出すが、今年は温度が高かったため、いまだに動きがみられない。他の店でも買い控えが多いと聞く。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	それ以外	・ガソリン代だけでなく、仕入れの値上げもあるが、売値を上げられないので身を削ることになる。
百貨店（営業担当）		お客様の様子	・10月は、プロ野球球団の応援などで各百貨店がセールを打ち出したが、盛り上がりには欠けた。必要以外の商品は一切買わない状況で、個人消費が徐々に悪化している。	
スーパー（店長）		販売量の動き	・10月31日のハロウィン関連商品、11月15日解禁のボージョレーワインの予約が前年に比べて少ない。	

	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・原油・小麦の原材料高騰による食品・日用品等の買い控えと10月に入っても涼しくならない天候による秋物衣料の売行き不振の影響が大きい。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べると、客の動きが鈍く、売上も悪い。	
	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・定率減税の廃止の影響が大きい。客単価を3%程度低下させる作用がある。来客数はほぼ前年同様であっても、客単価がついて行かず、非常に景気が悪い。	
	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は確保できているが、配達に回る件数が減ったことから大型商品の動きが悪くなっている。家計の出費が多くなっているという話を聞く。	
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・相変わらず、車を買う話が出て軽自動車への傾向が強く、普通車の台替えが進んでいない。新型車効果も薄く、計画どおりの販売台数には至らない。	
	乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・売れ行きはさっぱりである。新型車が発表になったが、受注増につながらない。	
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数は減少、さらに単価が全然上向いてこない。コストの転嫁も難しい。	
	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・市場全体の販売数の動きがやや低迷していることや、11月下旬から販売方法を変更するという報道発表により、今月末から来月下旬まで景気はやや悪くなる。	
	通信会社（支店長）	販売量の動き	・客の購買が鈍い。	
	観光名所（職員）	来客数の動き	・入場者数の伸び率が月ごとにだんだん減ってきている。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・原油、小麦粉等の値上げに伴う物価上昇が個人消費意欲に影響を与えているのか、来客数が伸び悩んでいる。	
	悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・販売先である飲食店の客の入りが少なく、飲食店店主たちは悲鳴を上げている。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・酒類、加工食品のメーカー、卸は、卸価格値上げの流れが定着しつつあるが、小売業者は小売価格に転嫁出来ず、自ら負担せざる得ない状況にある。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・9月に比べ、来客数が3分の1まで落ち込んだ。通常月であれば、こういうことはあまりなく、景気は悪くなっている。
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	食品品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月に入って麺類等の需要が増え、売上も増えてきている。
		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・国内産の良い商品は、多少価格が高くとも売れるということで小売段階で高感度商品の仕入れを増やす方向にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特殊な噴霧乾燥機をつくっており、大阪であった国際見本市に出したが、大手の化学会社・食品会社・化粧品会社の動きは活発であった。問い合わせ等も前回より増えた。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・西日本では、建設用クレーン・高所作業車の稼働は絶好調である。原子力発電所での点検補修等で大型クレーンの稼働も急上昇中であり、引き合いは相変わらず強い。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業も数件取れたが、それも単発的である。
		公認会計士	取引先の様子	・関与先の決算内容、月次の試算表の内容等を分析すると、平均的に、前年比で売上も2～3%低下している。利益も、前年比で悪くなっている。全般的に小売、サービス、建設関係が悪い。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は増加しない。素材はすべて値上げの方向でできているが、販売価格には転嫁できない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新規受注や更新の話が少なかった。関東・関西共に鉄鋼関係の受注は、受注金額は低いものの堅調であった。業界全体に厳しさが出ている。
		輸送業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・大口顧客の業績不振等による取扱数量の減少と共に、大幅な料金値下げ要請が相次ぎ、燃料価格高騰と重なって業績に大きなダメージを負っている。

	悪く なっている	建設業（総務担当）	それ以外	・民間工事の受注が順調に増えてきているが、建築基準法の改正により、着工が大幅に遅れている。大きな工事ほど認可が遅く、下請けの待機期間が長くなっており、非常に困っている。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・派遣・職業紹介の依頼件数が増えてきている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	・新卒採用をしたい企業は前年比約110%、第2新卒ニーズも中小企業を中心に高い。営業職の求職者数はダウンしており、求人広告にかかる費用に見合わない状態である。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・従来より、やや上向きの傾向がみられる。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・9月の有効求人倍率は、先月と同じ0.71倍となり、横ばいとなっている。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・求人数が例年より早く、この時期から減ってきている。例年なら11月中旬よりこの傾向は見られるが1か月早い動きとなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・建設業の状態が悪い。公共工事の激減に加え、一般建築も無い。街中や郊外を見ても新しい建物の建築現場が少ない。商業部門でも地元企業で健闘しているところがない。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人は昨年より多くなっているが、パート雇用が中心であり、就職者数は昨年より10%少なくなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の動きをみると、3か月前までは前年と比べほぼ同数であったが、ここ3か月は求人数は前年比減少しており、景気はやや悪くなっている。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人数は、この3か月間前年割れしている。採用が充足している企業が増えているが、製造系の技術者の求人は充足できていない企業が多く、相変わらず求人意欲は高い。
悪く なっている	-	-	-	